



# 成長

教会標語

私たちは御霊によって生き歩む。  
(ガラテヤ5: 25)

編集 < 総務 >  
 発行人 赤江 弘之  
 発行所 岡山市東区  
 西大寺中野 543-2  
 日本同盟基督教団  
 西大寺キリスト教会  
 電話(086) 943 - 7552

## 「明日へのマーチ」



牧師 佐野 泰道

九月十一日、歌手の桑田佳祐さんが仙台市で震災復興のライブを行いました。それに先駆けて発表されたのが『明日へのマーチ』です。ご存知の人も多いと思いますが、一部を紹介しましょう。

♪ 想えば恋しや 忘れがたき ふるさと／願うは遠くで 生きる人の幸せ／風吹く杜 君住む町

♪ 良い事も 辛い事も／それなりにあったけど／野も山も越えて行こう／明日へのフレー！フレー！

このライブで桑田さんは「願うは遠くで」の「遠く」を「東北」と換えて、「東北で生きる人の幸せ」と歌ったそうです。何とかして自分たちのふるさとを立て直していこう、昨年、重い病を患い入院した桑田さんならではの温かい気持ち

が伝わってきます。

ふるさとは誰にとっても切り離すことのできないものでしょう。私のふるさとは愛知県ですが、愛知の話題になると心が動きます。センバツ高校野球では、愛知県の出場校をチェックしてしましますし（もちろん岡山も応援しています）、愛知県にある野球やサッカーのチームの試合結果も目で追ってしまいます。ふるさととは、自分が生まれた場所や育った場所だから切り離せないのではなく、たとえその場所に行つたことがなくても、私という人間の一部分になっているからこ

そ、切り離せないのではないでしようか。

あの震災から間もない頃、「もう海はいらない」という見出しの新聞記事があったそうです（『いのちのこゝろ』十二月号）。「海辺で生まれ、海に育てられ、海とともに生きてきた人々」が「海はいらない」と言っているというのです。これは、ふるさとに攻撃されたということであり、自分の一部をえぐり取られたような痛みではないかと思わされました。

聖書では、イエスを信じる者たちに「天の故郷が用意されている」と約束されています。「彼らは、さらにすぐれた故郷、すなわち天の故郷にそこが用意されています。：事実、神は彼らのために都を用意しておられました。」（ヘブル十一・十六）私たちは誰も、天国に行つたことはありません。

詩人の星野富弘さんは、「サフラン」という作品で、次のように詠んでいます。

● 冬があり夏があり／昼と夜があり／晴れた日と雨の日があつて／ひとつの花が



です。天国があなただけから、「天国があなただの故郷だ」と言われても、よくわからないところがあるのです。しかし、もし、天国が私の故郷ならば、天国は私という人間の一部分になつてはいるはずですが、事実、イエスを信じる人には、聖霊なる神が天国を保証してくださるので（エペソ一・十四）、私たちの国籍は天にあるのです（ピリピ三・二十）。